

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	理学療法学分野
学籍番号	15S3027	院生氏名	Thanda Aye
通学キャンパス	大田原キャンパス		
論文題目	Relation between Gross Motor Skill Development and Socio-demographic factors among Public and private Primary School Children in Myanmar		
審査結果(枠で囲む)	合格 不合格		
<p><審査結果の要旨></p> <p>和文タイトル：ミャンマーの公立及び私立小学生に見られる粗大運動能力発達と社会生活状況との関連</p> <p>1. ミャンマーの6～7歳児の粗大運動能力発達について、その通っている地域や学校設備などの観点から関連性を調べた研究である。</p> <p>まず米国で開発され、計量心理学的検討の済んでいる粗大運動能力発達評価尺度Gross Motor Development 2nd version (TGMD-2)を用い、ミャンマーの児童を対象として、走力、跳躍力など12通りの運動種目を実施・計測してビデオ収録し、検者内信頼性、検者間信頼性を調査した。ついで、都会と田舎からそれぞれ4校の在籍児童472名を調べたところ、走力などの運動機能試験において男女間での差異と地域別の差をみたので、同意の得られた312名を、さらに都会の公立学校、都会の私立学校、そして田舎の公立学校に通学の3群にわけて、児童の粗大運動能力をTGMD-2を計測するとともに、群間における違いを、それぞれの立地する地域での社会経済学的状況・家族背景などとの関連を通して分析した。</p> <p>施設の立地条件や家族背景など社会経済的影響から、十分な広さの校庭を確保できない都会の公立学校の生徒が、都会の私立学校や田舎の公立学校の生徒に比べて、調査した各種運動能力に差を認めるとの結果であった。</p> <p>副論文については、審査開始時に、刊行すみの論文1編を確認した。</p> <p>2. 審査会は第1回を11月28日(火)に開催したが、各学校群の男女比に違いが見られ、男女比を統一もしくは男女別の結果を加える必要がある、都市部と農村部に関する定義についての記述はあるものの、その判断となる数値などがなく、計測・評価者の背景などの記載不足など、いくつかの問題点があったために、論文の修正を求めた。12月22日に再提出された論文で、各指摘事項に関して適切に追加・修正がなされたことを確認した。</p> <p>3. 論文の口頭発表において明瞭な発表を行い、審査での試問においては方法論上での疑問点、結果の解釈の妥当性などについての質問に的確に答え、指摘された部分については真摯に対応した。</p> <p>4. 以上の結果から、審査委員全員は本人が学位申請論文の内容および関連事項について十分な学識を有しており、本論文が著者に博士(保健医療学)の学位を授与するに十分であると認めた。</p>			
論文審査担当者	主査	赤居 正美	
	副査	石井 博之	
	副査	糸数 昌史	

